

2019年度「青年研修事業に係る研修業務委託」企画競争(3案件)(公告/公示日:2019年5月20日)に係る質問事項への回答

	該当頁	該当項目	質問	回答
1	別紙1-① 1頁	受入人数 11名	業種別や地域別など、なんらかの目安がございますか。	対象者は別紙1-① 1頁に記載の通り、連邦・地方政府の産業振興政策・立案業務に携わる若手行政官となります。特に業種や地域での募集枠の設定はいたしません。 (参考:昨年度は中央政府の行政官8名、地方政府3名という実績でした。)
2	別紙1-① 2頁	関連産業	繊維・農業・畜産・自動車の関連分野のうち、研修員参加に目安や予定、重点がございますか。	質問1への回答と重複しますが、特定の業種・分野を指定した募集枠の設定はいたしません。
3	別紙1-② 1頁	第2(4) 研修言語	資料をダリ語に翻訳するに際し、既存の英語の資料からダリ語への翻訳料を見積もることは可能か。	翻訳会社を利用して、翻訳料金を見積もっていただいて問題ありません。
4	別紙1-② 1頁	第2(4) 研修言語	アフガニスタンからの研修員は教育を受けた政府職員であり、このため若干の英語なら理解でき、英語の簡単な施設紹介パンフレット等はダリ語へ翻訳しなくても良いと考えてよいか。それとも英語はまったくできないことを前提とすべきか。	基本資料をダリ語に翻訳いただければ、紹介パンフレット等の追加的な資料の翻訳は不要です。実際、必ずしも参加する研修員全員が英語に堪能ということは、想定し難いところですが、少なくとも何名かは一定以上の英語コミュニケーション能力を有していると思われるので、ある程度は彼ら・彼女たちを介して、英語が不自由な参加者に適宜説明してもらうことができると予想されます。
5	別紙1-② 2頁	【活動】	希望関連視察先に「鉄鋼業」とあるが、鉄鋼業は通常粗鋼等を生産する産業を指し、高炉を有する大企業が行うものである。「金属加工業」と読み替えてよいか。	「金属加工業」と読み替えていただいて結構です。
6	別紙1-③ 2頁	活動の 日本の文化体験	とくにイメージされている「文化」はございますか。	特に想定しているものではありませんので、お持ちのネットワークを活かしてご提案いただければ幸いです。
7	別紙1-③ 2頁	日本の青年との交流	青年とは40歳未満程度と考えてよろしいですか。	資格要件の一つとしての研修員の年齢は20歳から35歳となる予定ですので、同程度の年齢の日本の青年との交流を想定しております。